

武蔵野赤十字保育園すくわくプログラム

テーマ「色」



3歳児クラス～5歳児クラスの子どもたちと活動を行いました。

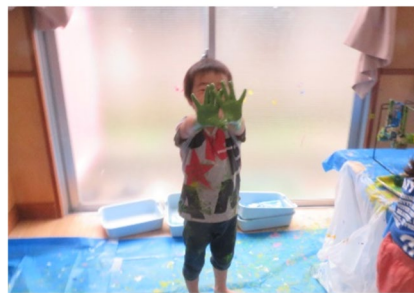
また、完成した作品は、次の行事に展示を行い、

乳児クラスの子どもたちも作品に触れていきました。



3さい

もも組・さくら組



3歳児クラスでは、保育者がスポンジローラー・大小様々な大きさの筆を用意し、好きな色を思い思いに描く活動を行いました。ローラーを使った活動は初めて行うこともあり、初めての道具に大興奮の子どもの姿が見られました。徐々に慣れてくると、手足に絵具を付けて、感触も楽しみながら活動を行う姿がありました。

また、普段よりも開放感のある環境から、積極的に活動に向かう子どもの姿が多く見られました。



完成した作品は、
盆踊り WEEK 活動の装飾にしました！





4歳児クラスでは、「夏の空。」をイメージしながら、大きな模造紙いっぱいそれぞれ思い描きました。

「虹を描きたい！」「これは夜のお空だから月を描いているんだ～」等子どもたちから色々な空のイメージを共有する姿が見られました。

色んな色を混ぜながら筆やローラーを走らせ、色の混ざり合いも楽しみながら行うことができました。

4さい

うめ組・ひまわり組



完成した「夏の空。」に花火を付け、「お祭りごっこ。」の装飾品にしました！





5さい

まつ組



5歳児クラスでは、「自然。」をイメージしながら、大きな模造紙いっぱいそれぞれ思い描きました。

「自然だからたんぽぽ描いてる。」「〇〇くんがたんぽぽ描いているから雑草描く！」等友だち同士話し合っ協力しながら描く姿が見られました。

色が混ざり過ぎないように上手く余白を使い、3、4歳とはまた違った作品を作る様子が見られました。



完成した「自然。」に虫の折り紙を付け、乳児クラスを部屋に呼び、「虫取りごっこ。」を楽しみました！





振り返りによって得た気づき

- ・絵具の活動でいつもは消極的な子どもも、自分から進んでローラーや筆を手に取り思い思いに描く姿が見られました。
- ・時間が経つにつれて徐々に気持ちを解放する姿が見られ、筆から手足を使い、絵の具の感触を楽しみながら活動に参加する姿が見られました。
- ・普段中々行えない、自分より大きなロール紙に描くことは、子どもたちにとって、大胆に開放して楽しく活動できたと思いました。
- ・学年によって、資材の使い方も異なり、学年が上がるにつれて表現の幅を広げる姿が見られました。
- ・子どものアイデアや意見を踏まえ、ごっこあそびに繋げていき、学年クラスを越えての異年齢交流ができました。
- ・すくわく活動だけではなく、普段の保育にも活かしていくことで、活動の繋がりを大事にしていきます。

